

乳がん検診

生涯にわたって健やかな女性であるために、乳がん検診を定期的に受診しましょう。

○対象者は？

30歳以上の女性

○受診方法は？

「医療機関名簿」から対応している医療機関に直接電話等で連絡してください。

○検査方法は？

問診・視診・触診・自己検診法の指導

※40歳以上で偶数年齢に該当する人は、視診・触診の結果に異常のなかった場合に、希望制でマンモグラフィ（乳房エックス線撮影）検査を実施します。

○乳がんって？

乳がんは、乳腺に発生する悪性腫瘍で、年間約35,000人の女性がかかり、罹患率は増加しています。

日本人女性の25人に一人は乳がんにかかると言われ、40～50代の女性における最も多いがん死亡の原因となっています。

○港区の乳がん検診は？

乳がんの発生は、20代はごく少数で、30歳以降の比較的若年層から多く見られるのが特徴となっているため、乳がん検診は、30歳以上の女性に実施しています。

○実際の検診の方法は？

検査方法は、視触診とマンモグラフィの画像診断があります。視触診は、乳房全体を目で診て、皮膚等の変化をチェックし、手で触れてしこりがあるかどうかを診察する方法です。視触診は、乳がん検診で最も基本的な検査です。

マンモグラフィは、若い人の場合は乳腺が豊富なため、エックス線写真上では乳がんを見つけることが難しいため、対象年齢を40歳以上としています。また、マンモグラフィは、視触診だけでは発見することが難しい早期の微細な乳がんを発見する可能性が高いと言われていますが、マンモグラフィだけで必ず乳がんを見つけられるわけではなく、視触診や自己検診と併用することが大切となります。

○乳がん検診はいつ受ければ良いの？

正しい検査のため、月経終了後3～7日の間に受診しましょう。

妊娠がわかっている場合は、受診を控えましょう。